

笛吹市立 青楓美術館

Fuefuki Municipal
Seifu Museum

青楓美術館は、津田青楓と親交のあった一宮町上矢作出身の歴史家 故 小池唯則氏が私財を投じ、昭和49年(1974)10月23日に開館しました。

津田青楓は、洋画、日本画、書と幅広い美術作品を手掛け、二科会創立委員として活躍し、夏目漱石に絵の手ほどきをしたり、良寛に私淑し、晩年は今様良寛と称賛されたほごです。

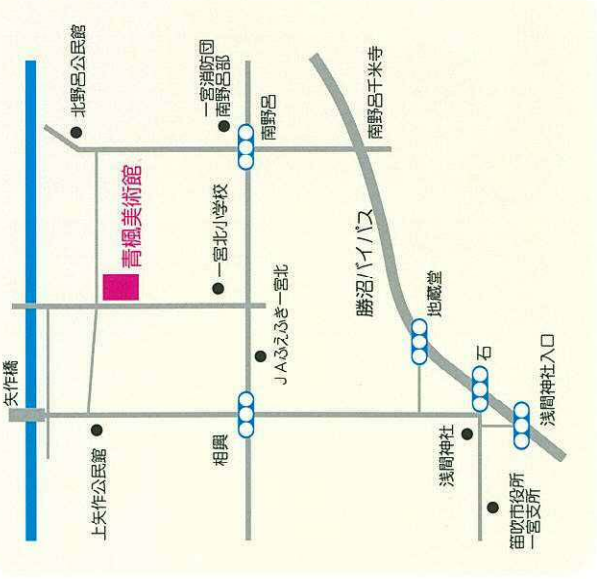
また、美術分野における活躍ばかりではなく、漱石をはじめとじ与謝野晶子など当時の文壇で活躍された人々との交流も深く自ら随筆集や雑誌への寄稿、和歌集の出版、本の装丁など文芸界にも活躍されたマルチ芸術家とも言えます。

昭和59年(1984)9月、小池唯則氏の遺族、財団法人 青楓美術館理事長 小池節子氏から美術館収蔵作品及び建物、敷地等一切を一宮町に寄贈していただき、以後「一宮町立 青楓美術館」を経て、現在の「笛吹市立 青楓美術館」に至っております。

現在は、青楓のご遺族の方々をはじめ青楓作品を愛するコレクターの方々のご寄贈があり、500点以上の作品が収蔵されています。



犠牲者



※65歳以上無料(運転免許証等の証明書が必要です)

※団体は20人以上

小学生 100円(個人) 80円(団体)

大学生・高校生 200円(個人) 150円(団体)

一般 300円(個人) 200円(団体)

●入館料

●休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始

(月曜日が祝日の場合は、祝日明けが休館日)

●開館時間：午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

●電話：0553-47-2122

●住所：山梨県笛吹市一宮町北野呂3-3

笛吹市立 青楓美術館

Fuefuki Municipal Seifu Museum

ぶどう畑の中にある

小さな小さな宝箱!!





疾風怒濤

良寛和尚の像

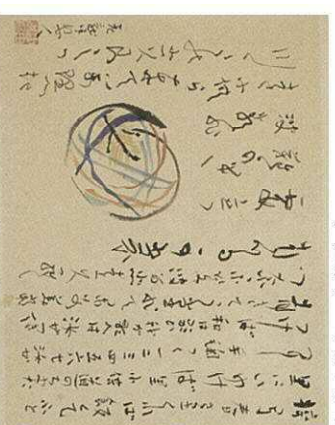


風



夏日漱石像

手毬図 1973年



梓弓春さりくれば飯乞ふと
 梓弓春さりくれば飯乞ふと
 里にいゆけば里小供道のちまた
 に手毬つくと二三四五六七が
 つけば和は歌ひ我が歌へは淑くきて
 都きててう当非て閑敷美当
 つ奈閑幾は留非を久羅し
 都留可幾
 震立つ
 難かき
 波癖非
 を小供ら東手万理つ起
 つこの非久良しつ



金地院の蓮池